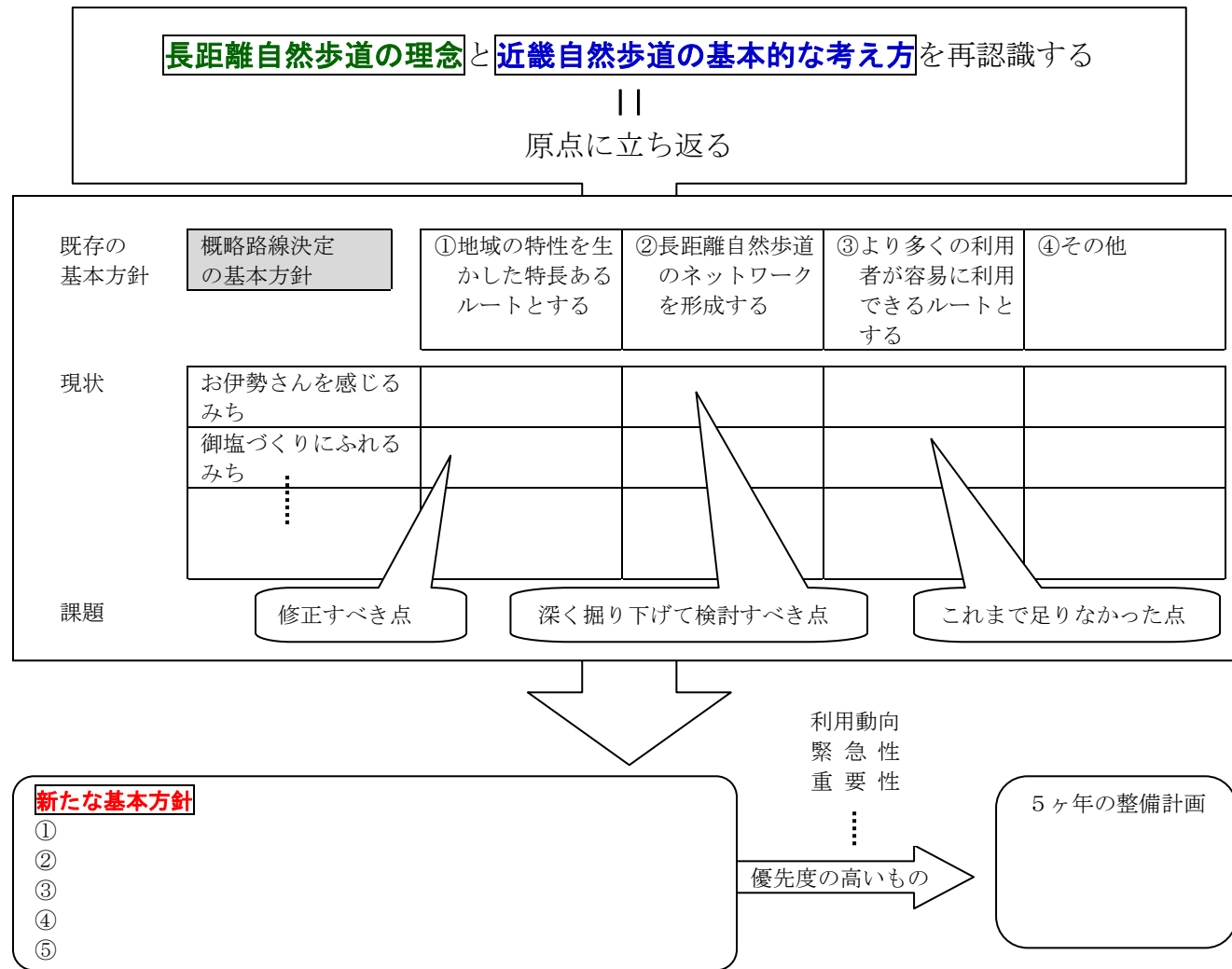
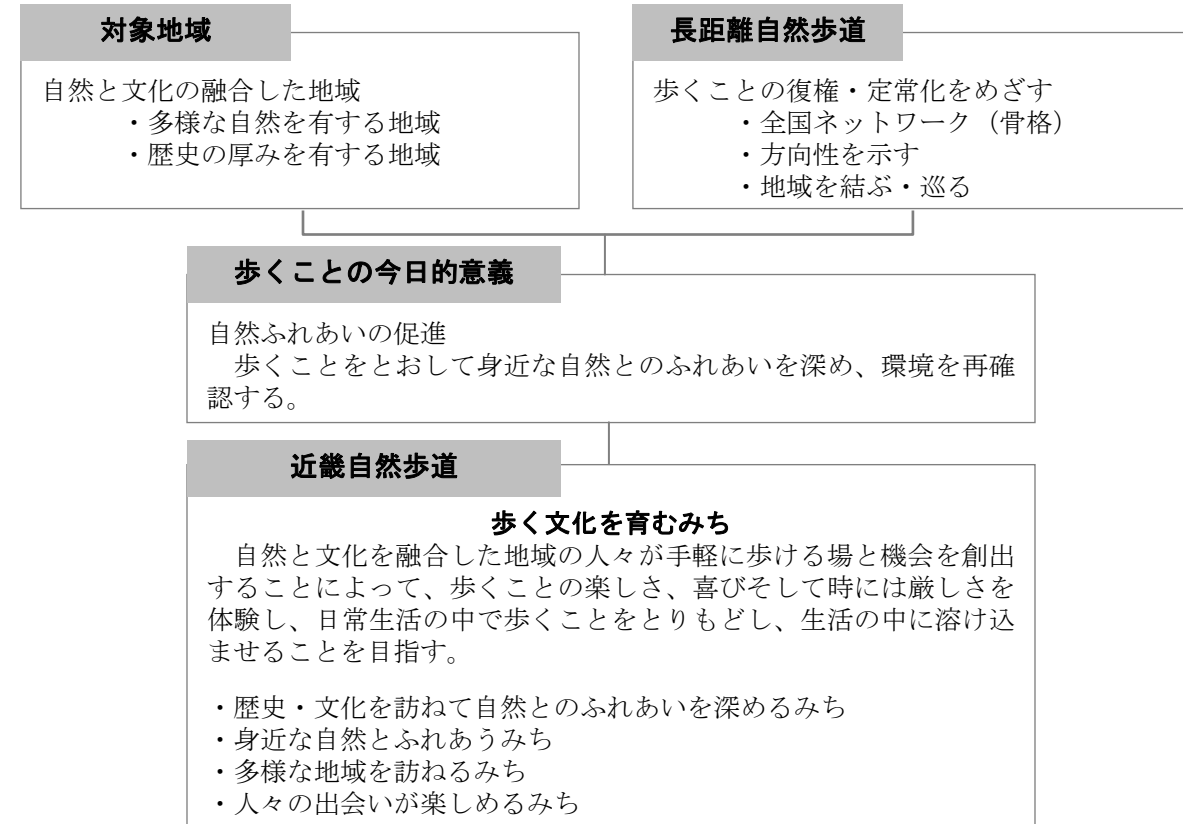


近畿自然歩道の「新たな基本方針」と整備計画策定の流れ



近畿自然歩道の基本的な考え方

基本的な考え方を理念として示せば、「自然と文化の融合した地域に人々が手軽に歩ける場と機会を創出することによって、歩くことの楽しさ、喜び、そして時には厳しさを体験し、日常生活の中で歩くことを取り戻し、生活の中に溶け込ませることを目指すものである。」コンセプトとして示せば、「歩く文化を育むみち」ということができよう。そして、近畿自然歩道はつぎのようなみちの利用イメージを目標とすることが望まれる。



概略路線決定の基本方針

基本的な考え方等を踏まえて、概略路線の基本方針を示すと次のとおりである。

- ①地域の特性を生かした特長あるルートとする
 - ・優れた歴史文化資源の活用に配慮したルートを選定する
 - ・多様な自然とのふれあいができるルートを選定する
 - ・地域の歩道や街道の活用に配慮したルートを選定する
- ②長距離自然歩道のネットワークを形成する
 - ・既存の長距離自然歩道と一体的利用が可能なルートを選定する
 - ・全国ネットワークの観点から、密度的バランスや地域特性を生かした路線形態に配慮する
 - ・周辺地域の長距離自然歩道との接続に配慮する
- ③より多くの利用者が容易に利用できるルートとする
 - ・公共交通機関あるいは自動車・船による到達性に配慮したルートを選定する
 - ・宿泊施設あるいは野外レク利用拠点などを活用したルートを選定する
- ④その他
 - ・隣接府県との接続を考慮する

出典：平成20年度長距離自然歩道の点検・計画指針等について～長距離自然歩道点検・計画変更の手引き～平成21年3月 環境省自然環境局自然環境計画課

長距離自然歩道の理念

人間生活の利便を求めて国土的な規模において、開発が急速に進行していく情勢のみを是認し、自然保護の必要性を等閑視するような風潮に、ささやかではあるが一石を投じてみたいというような気持ちを、私たち自然保護に関係するものたちが持っていたのである。

なるほど、自然の開発はわれわれ人間が将来に向かって生活を向上させて行く上には最も必要なことである。しかし、自然の開発だけでは、人間の文明は円満に発展していくとは考えられない。開発と共に、一方では自然の保護が適切にはかかられていかなければならない。そして、自然の中に人間が浸る野外レクリエーションが促進されなければならない。しかるに、開発の槌音が高ければ高いほど、自然保護の呼び声も、人間が自然を希求する叫び声も打ち消されてしまうのが、残念ながらわが国の現状である。

東海道新幹線ができる。東京と大阪の間は僅か三時間の道程である。将来はおそらく東海道新々幹線ができ、時間は一時間に短縮されることであろう。このことは大変結構なことである。しかし、このことと同時に、人間自らの足で、何日も何日もかけてゆっくりと歩きながら自然を楽しみ、文化財と親しむ、そういう施設なり、自然保護の手当てなりが併存してこそ文明は限りなく前進することであろう。

出典：「東海自然歩道の構想 国立公園部計画課長 大井道夫」国立公園 N231 昭和44年2月号より抜粋